資料９

第２期中期目標における市民病院への要望等

(1)　市民アンケートをもとに取りまとめた市民病院への要望

①　がんや脳卒中などの専門医療機能
②　高度な医療機器等による治療、検査機能
③　救急患者の受入機能
④　医療、介護、福祉サービスの連携機能
⑤　人間ドックや健診ができる健康診断機能

そのほか、介護医療の充実や接遇の向上、待ち時間の短縮、市内の医療機関との機能分化、安定した医療サービス、診療等の情報発信等

(2)　医療機関アンケートをもとに取りまとめた市民病院への要望

①　救急患者の受入機能
②　高度な医療機器による治療、検査機能
③　小児に対する医療の充実
④　災害時（新型感染症等）の医療提供
⑤　地域包括ケアシステムの拠点機能

そのほか、重症患者や往診患者の急変時の積極的な入院受入の体制、認知症で多動性のある患者の内科外科疾患の入院受入、耳鼻科など常勤医体制等の医療体制の充実

(3)　市の医療政策に基づく市民病院の役割

①　救急医療や小児医療等の政策医療の確実な実施
②　市の災害対策行動計画に基づく災害時（感染症）等の医療体制の確保
③　地域医療の充実（地域で不足する医療機能の補完）
④　患者や市民への医療、看護、予防等への情報提供及び啓発

(4)　市民病院の課題（評価委員会、市等からの意見）

①　公的役割（地域包括ケアシステムの構築等）の実施
②　財源措置における負担金の削減
③　人事、給与制度の構築や購買、契約見直しによる経費削減
④　診療体制の充実や見直しによる病床利用率の向上
⑤　医療職の確保及び職員のモチベーションの向上
⑥　経営マネジメントできる人材育成

(5)　介護、訪問看護、在宅等団体（東播磨圏域内の医療と介護の調査結果より）

①　在宅患者の急変時の対応
②　在宅復帰までの間の自立に向けたリハビリ訓練及び治療の機能
③　紹介患者等の経過に対し、リアルタイムの確認機能（患者カルテの開示）
④　病院や在宅医、介護、訪問看護等との密接なコミュニケーションの場の必要性
⑤　各職種の専門性や限界等への相互理解、介護担当者等の医療に関する知識の向上
⑥　患者本人や家族の医療及び介護、在宅（看取り）に対する理解の促進並びに啓発